

このコーナーでは、愛知県内のリカレント教育について紹介します。

リカレント教育の現状について

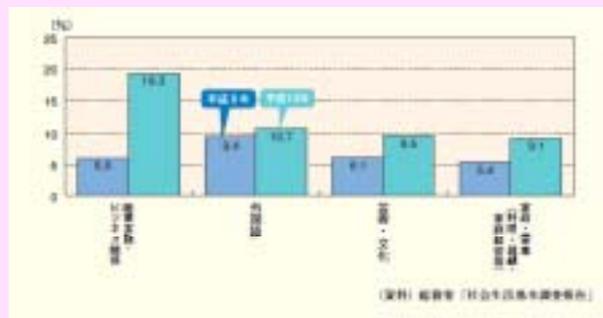
牧野 篤(名古屋大学大学院)

リカレント教育は、OECD(経済協力開発機構)が加盟国における今後の教育政策のあり方として提唱した、教育機会の均等をより徹底するための成人を対象とした新しい教育の形です。それは、とくに、学校教育を終えてから、生涯にわたって職業能力を開発し続けること、そのために、教育資源を学校だけに集中させるのではなく、社会のあらゆる場所で、あらゆる機会に学習ができるように配置することを求めるところに特徴があります。このように、もともと、リカレント教育は、高度産業社会において、不断に更新される知識や技術に、人々が対応していくことを保障するために考え出されたものです。

昨今の日本のように、グローバル化の進展による経済構造の変容、そしてそれがもたらす雇用の流動化という社会では、高度化する技術や知識に対応するだけでなく、企業横断的に評価される力をつけることが求められるようになりました。それが、働く人々のリカレント教育への要求を強め、高度化しています。つまり、高等教育とくに大学院におけるリカレント教育の需要が高まっているのです。しかも、大学院におけるリカレント教育への需要の高まりは、教育を受ける人の必要からだけではなく、若年者人口が減少し、入学検定料や授業料収入が減っている高等教育機関が、自らの経営問題ともかかわらせて見出した、新しい社会的使命として、リカレント教育が位置づけられはじめたことが背景にあります。(< 図1 > は成人の学ぶ内容が、急速にビジネスや実務関係に集中

していることを、 < 図2 > は社会人大学院生の増加が著しいことを示しています。)

いわば、昨今の日本におけるリカレント教育の急速な発展は、教育を受ける人と提供する側の双方の利害が一致したところで生み出されている、まさに社会的なニーズに応えるものであることができます。そして、それが故に、受益者負担主義が強調されがちですが、本来的には、人々がより高度な知識や技術を身につけ、また社会における高等教育機関の役割が拡大することによって、社会全体の生産性が高まるとともに、社会の知的水準が上がることにつながるのですから、できる限りの公的な保障が望まれます。



< 図1 > 成人の学習内容(平成8年と13年)
文部科学省『データから見る日本の教育(2004)』



< 図2 > 社会人大学院生の増加推移
文部科学省『データから見る日本の教育(2004)』

ことば

「リカレント教育」とは？

リカレント教育という概念は、1969年の第6回ヨーロッパ文相会議においてスウェーデン文相O. パルメが取り上げたのが最初です。1970年にOECD(経済協力開発機構)がこれを公式に採用し、生涯教育構想具体化の戦略の一つとして位置づけられるようになりました。OECDにおけるリカレント教育は、青少年期という早い時期に集中していた教育を「血液が人体を循環するように、個人の全生涯にわたって循環させよう」とするところに主要な特徴がありました。

もともと「リカレント」とは、「回歸する」、「還流する」、「循環する」という意味で、リカレント教育は、「**社会人が、職業上の新たな知識・技術を習得するために、また、日常生活において人間性を高めるために必要とする高度で専門的な教育である**」と言えます。

生涯学習の理念が、個人の自発的な意思で行う学習を生涯にわたって支援する環境づくりを目指しているのに対して、リカレント教育は主として職業生活とのかかわりの中で学習の機会を保証することを目的としている点などに違いがあります。(県生涯学習課)

レポート

平成16年度 愛知県リカレント教育推進会議

去る11月18日、「公開授業と団塊の世代の第二の人生」をテーマに平成16年度愛知県リカレント教育推進会議が開催されました。参加者は市町村の生涯学習担当者や大学を始めとする高等教育機関、生涯学習関係団体などの担当者96名。会議の冒頭で県生涯学習課より県内のリカレント教育推進の状況の説明があり、少しずつ増加している市町村と高等教育機関との連携講座開設状況などが報告されました。

続いて、名古屋大学大学院助教授の牧野篤先生より、名大で実験的に行われている授業を公開する取組状況の講演があり、授業公開に至る経緯や苦労、受講者アンケート結果、今後の課題などが報告されました。

会議後半では、事例発表として、実際に名大の公開授業を受講した方の感想や生涯学習を通じたまちづくりの実践報告、学生経営のカフェで実施されている名古屋学院大学のまちづくり活動公開授業の様子が発表されました。(県生涯学習課)

ここからは、愛知県生涯学習情報システム「学びネットあいち」に登録されているリカレント教育情報を紹介します。

社会人特別選抜入試とは？

社会人が一般の志願者と同様に学力検査を受け大学に入学することは困難なため、入学者の選抜にあたり、社会人に対して学力検査を免除あるいは軽減し、小論文や面接等を中心に、経験や勉強意欲をみることに主眼を置いて行う制度

学校名	募集研究科	募集人員	出願期間	問合せ先
名古屋大学大学院	文学研究科博士前期課程	~ 若干名	1/6～12 1/11～17 1/5～11 1/17～21 1/5～7 1/17～21 1/19～25 1/7～14 【すべてに共通】 受付時間 9:00～16:00 (12:00～13:00は除く)	文学部・文学研究科教務 学生掛 052-789-2207 教育学部・教育発達科学研究科教務学生掛 052-789-2606 法学部・法学研究科教務 学生掛 052-789-2316 工学部・工学研究科教務課 052-789-3978 農学部・生命農学研究科 教務学生掛 052-789-4967,4010 国際開発研究科事務掛 052-789-4956 国際言語文化研究科 事務室 052-789-4881 環境学研究科入試事務室 052-789-4590
	文学研究科博士後期課程			
	教育発達科学研究学科 博士後期課程			
	法学研究科博士後期課程			
	応用法政コース			
	工学研究科 博士後期課程			
	生命農学研究科 博士後期課程			
	国際開発研究科博士後期 課程国際協力専攻			
	国際言語文化研究科 博士後期課程			
	環境学研究科 博士前期課程			
	環境学研究科 博士後期課程			

聴講生・研究生とは？

教育課程の全部の履修を目的とする正規の学生と異なり、聴講生は大学等の授業の一部を履修することを目的とし、研究生は特別の事項について研究することを目的にして、各大学等の学則によって慣行的に認められてきた制度

科目等履修生とは？

大学学部等で開設されている授業科目の一部を履修し、正規の単位を修得できる制度
言い換えると前記の聴講生に正規の単位が授与できることとした制度

学校名	募集研究科・学部	出願期間	問合せ先
名古屋大学大学院	法学研究科 経済学研究科 医学系研究科(修士課程) 工学研究科 生命農学研究科 多元数理科学研究科 国際言語文化研究科 環境学研究科 (大学院研究生のみ募集) 情報科学研究科	前期:平成17年2月～3月 後期:平成17年8月～9月 ただし、経済学研究科については前期、後期ともに3月 環境学研究科については前期:平成17年2月、後期:平成17年8月 詳しい日程については、各学部教務学生掛へお問い合わせ下さい。	法学部・法学研究科教務学生掛 052-789-2316 経済学部・経済学研究科教務学生掛 052-789-2357 医学部・医学系研究科学務課 第一学務掛 052-744-2430 第二学務掛 052-719-1522 工学部・工学研究科教務課教務掛 052-789-3974 農学部・生命農学研究科教務学生掛 052-789-4299 理学部・理学研究科・多元数理科学研究科教務学生掛 052-789-2808 国際言語文化研究科事務室 052-789-4881 環境学研究科大学院担当 052-789-4590 情報文化学部・情報科学研究科教務学生掛 052-789-4721
名古屋大学	文学部 教育学部 法学部 経済学部 情報文化学部 理学部 医学部 工学部 農学部	前期:平成17年2月～3月 後期:平成17年8月～9月 ただし、経済学部、医学部医学科については前期、後期ともに2～3月 詳しい日程については、各学部教務学生掛へお問い合わせ下さい。	文学部・文学研究科教務学生掛 052-789-2206 教育学部・教育発達科学研究科教務学生掛 052-789-2606 法学部・法学研究科教務学生掛 052-789-2316 経済学部・経済学研究科教務学生掛 052-789-2357 情報文化学部・情報科学研究科教務学生掛 052-789-4721 理学部・理学研究科・多元数理科学研究科教務学生掛 052-789-2808 医学系研究科学務課 第一学務掛 052-744-2430 第二学務掛 052-719-1522 工学部・工学研究科教務課教務掛 052-789-3974 農学部・生命農学研究科教務学生掛 052-789-4299

放送大学 平成17年度第1学期学生募集について

出願期間:

平成16年12月15日(水)～平成17年2月28日(月)

詳しくは、放送大学本部や学習センター、サテライトスペース、主な書店等で無料配布している学生募集要項をご覧ください。

放送大学愛知学習センター

名古屋市昭和区八事本町 101-2 中京大学センタービル4階

052-831-1771 <http://www.u-air.ac.jp/>

放送大学とは？

テレビ・ラジオ等を活用して大学教育の機会を広く提供すること等を目的として設置された正規の大学
昭和60年度から学生の受入れを行っており、愛知県には、平成4年に放送大学愛知ビデオ学習センターが設置され、平成10年4月から放送大学愛知学習センターと改組しています。(中京大学構内)